

令和2年2月2日（日） 牧野明剣館

渚体育館2Fにて。道場で購入したプロジェクターおよび周辺器材を試しに使用してみる。明るい室内でも使用できることに今後のあらゆる可能性を感じる。お世話になった先生に感謝。始めの礼で、購入備品についての話。続いて「FM 枚方ホッポ-ツァム 77.9」の話。今後も周囲に認めれる明剣館でありたいと語る。準備体操、素振りに、今日は2人の父が参加。基本稽古の指導。健、智稀の元立ちに、佳音、佑弥がかかる。元立ちの2人同士でお手本もかねて行うパターンで。基本動作の反復に徹する。佳音、佑弥への細かな指導は、健と智稀にも役立つもの。追い込みをたっぷり行う。初級の2人がきちんとできることに目を細める。休憩をはさんで地稽古。初級の2人が元立ちにかかる。元立ち同士。元立ちが私にかかるパターンを繰り返す。初級の2人は面打ち、元立ちは掛かり稽古、切り返して締める。終礼で21:00~のホッポ-ツァム 77.9を聴くことを促す。



令和2年2月8日（土） 牧野明剣館

三中にて。準備体操、素振りの後、購入したプロジェクターの模擬活用状況の写真撮影。面を着けての基本稽古の指導を松田君にお願いして、プロジェクターの片づけと保護者の方へ3月以降の大会行事の連絡。途中から基本稽古に合流。思えば今日まで少し稽古が空いた。じっくりと自分の動きを確かめながら基本稽古を続ける。地稽古。1分30秒で1周。基本稽古が途中からで少な目だったせいか、エネルギーが残っている。子どもの掛かり稽古と切り返しを受けた後、一般同士で打ち込み。4本×2回ずつで繰り返す。毎回ずっと行えばかなり効果的と思う。切り返して締める。



令和2年2月9日（日） 牧野明剣館

殿二小にて。準備体操、足捌き、始めの礼の後、面を着けて基本稽古。今日は切り返しから時間をかけてたっぷり行う。踏み込み足、足が上へ向かって動いて、前へ出ていないところを指導する。膝の後ろの活用も。広い体育館をいっぱい使うように追い込みの稽古。高学年以上は突きの稽古も試みる。大人が元立ちに立っている利点。休憩をはさんで地稽古。一般が元立ちの引き立て稽古。掛かり稽古、切り返し。子ども達は終了で、一般同士の地稽古。正面の打ち込み。切り返しで締める。

令和2年2月11日（火・祝） 牧野明剣館

渚体育館2Fにて。健と剣道形の稽古。太刀7本を打太刀・仕太刀とも行って、小太刀に入る。始めの礼、準備体操の後、素振りを一緒に行いながら指導。低学年、初級者も一緒に行えるように、1本1本区切って行う。左手が中心からぶれないこと、左手を鳩尾まで下ろすことを指導。面を着けて基本稽古。私、菊池さん、青田さんが元立ちに、子ども達が2列で並ぶ。元立ちも含めて全員がしっかりと稽古できるように段取りを工夫して行う。打突時にいい音が出るように。自分の出番でないときは先生や先輩の稽古をしっかりと見学するように。休憩をはさんで地稽古。6年生以上と指導者で元立ち、低学年以下が懸かるようにして。防具組と初級組のメニューをうまく分けながら。低学年以下を終えて、元立ち同士で地稽古、正面の打ち込み、切り返しで締める。

令和2年2月15日（土） 牧野明剣館

三小にて。保護者に各大会・錬成会の連絡をお願いする。準備体操の後、素振りを一緒にしながら指導。1本1本をていねいに打ち切るように。始めの礼で智稀君の2級証書の披露。面を着けて正面打ち、切り返し。小中学生だけで地稽古（回り稽古）。皆が揃ったところで基本稽古。いつものメニューで、応じ技、追い込みも全て一通り行う。休憩をはさんで、残り少ない時間を地稽古（引き立て稽古）、40秒で1周。掛かり稽古、切り返しで小中学生は終了。元立ちの一般同士で地稽古、30秒、1本勝負のつもりで。切り返しで締める。次週末の2つの大会に向けて激励。

令和2年2月18日（火）

さだ研修館・佐藤先生から電話連絡、新型コロナウイルス感染症対応で24日（月・祝）のふれ愛大会中止。明剣館の指導者、保護者に連絡。

令和2年2月20日（木）

三剣会・三宅先生から電話連絡、新型コロナウイルス感染症対応で22日（土）の関西選抜大会中止。明剣館の指導者、保護者に連絡。

令和2年2月22日（土） 牧野明剣館

三中にて。一度水銀灯の照明を消したため再点灯するまで暗い中での稽古。準備体操の後、素振りを一緒に行いながら指導。打ち下ろしたところの大切さを説く。始めの礼。新型コロナウイルス感染症対応で今日と明後日の大会が中止になったこと。衛生面の注意。面を着けて小中学生の稽古。指導しながら一緒に行く。一般は並行して剣道形の稽古。切り返し、正面打ちの後、地稽古（回り稽古）。1分で1周、じっくりと出来たか。応じ技。追い込み。小中学生の休憩中、菊池さんと地稽古。久々にじっくりと行う。基本稽古。全員で基本打ちをしっかりと行う。地稽古。一般の元立ちで小学生が懸かる。小学生は掛かり稽古、切り返しで終えて、元立ち同士で地稽古。打ち込み、切り返しで締める。新型コロナウイルス感染症対応、当面、道場の稽古以外の大がかりな活動は自粛。

令和2年2月23日（日） さだ剣修館

さだ小にて。小中学生の稽古を見学した後、面を着けて、並行して始まる一般の基本稽古に加わる。田村さんに請われて、一緒に稽古しながら指導することに。明剣館でのいつもの基本稽古のメニューでさせて貰う。突き技、追い込みも混ぜて。休憩。残り時間も少ないので、そのまま田村さんと地稽古。続いて板床さんと。佐藤先生と、厳しい間合いと機会の攻防。井手君、瀬尾君、和田君、近藤君、奥さん、井手さん。全員の方と稽古。一般、小学生を問わず、ひたむきな姿勢に好感。気持ちよく稽古させていただく。

令和2年2月25日（火）

新型コロナウイルス対応を考慮して、今日の稽古を中止する。保護者に連絡。志賀さんから一般の方々へ連絡。

令和2年2月28日（金）

3月2日(月)～24日(火)の間の三中の臨時休業に関連して学校開放も中止の連絡を受ける。

令和2年2月29日（土） 牧野明剣館

新型コロナウイルス対策の状況から、普段の活動場所の小中学校の臨時休業期間、学校開放中止に合わせて、3月2日(月)～24日(火)まで稽古中止を決める。

三中にて。今日を最後にしばらくの間、明剣館の稽古がないことになる。心を引き締めて稽古に臨む。準備体操の後、素振りを一緒にしながら指導。面を着けて基本稽古。いつもの方法とメニューで、時間をかけて、説明も十分に行い、たっぴりとする。今日も突きの稽古。間合いの難しさ。面や小手を受けてもらうように心地よく受けてもらえるように。休憩前に小中学生だけ追い込みの稽古。休憩後、地稽古（回り稽古）。1分15秒で1周。普段から基本稽古で面・小手・胴・突き・小手面を全て地道にしていねいに行ってきたことが生きてきているように感じる。賑やかに活気ある稽古になった。久々に自分の地稽古をビデオに撮る、帰ってから反省材料にするつもり。終礼で明日～3月24日(火)まで明剣館の稽古を中止にすることを伝える。稽古できない期間のために自習課題を用意するつもり。